

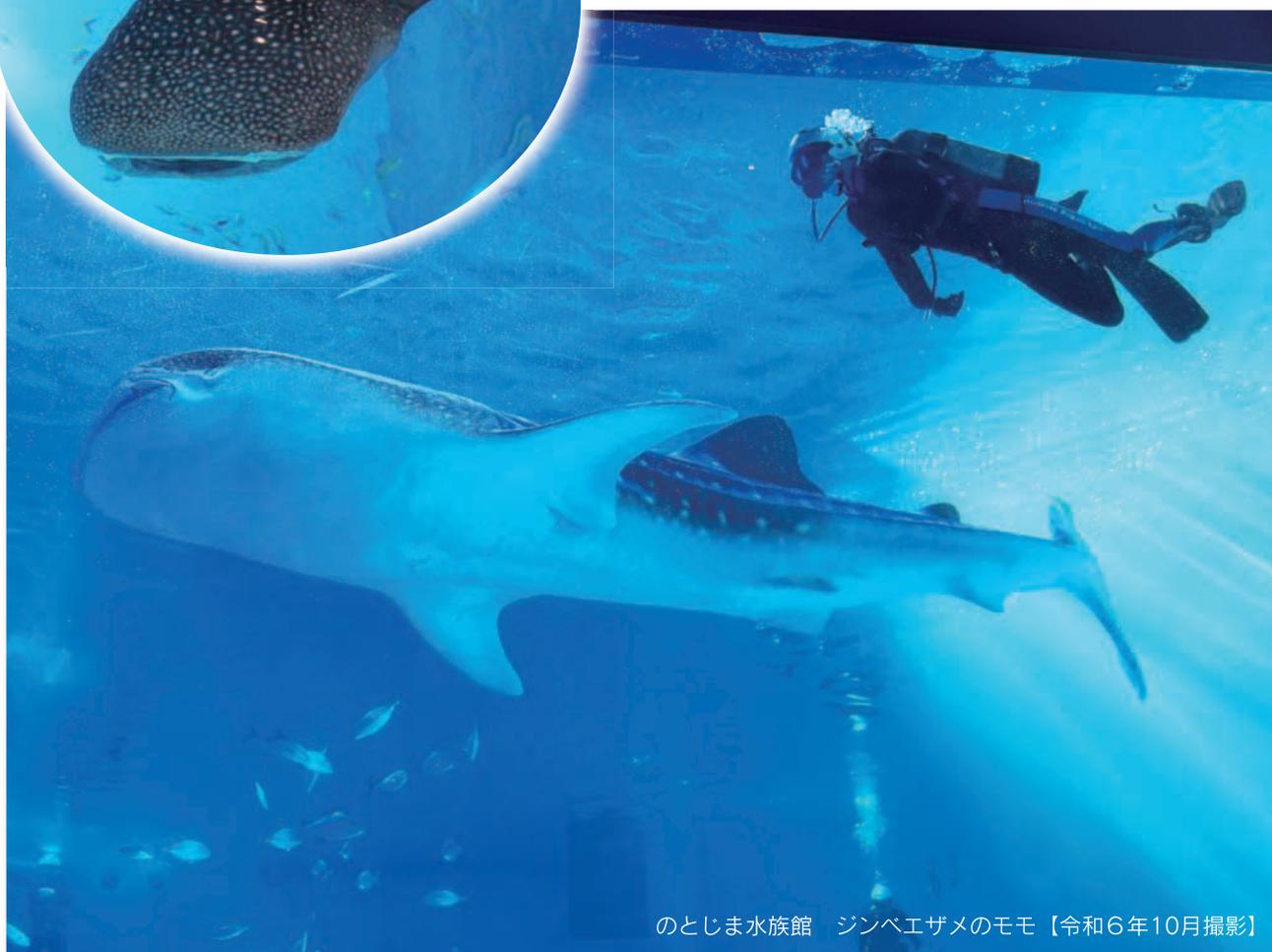
年2回(1月・7月)発行

シルバー  
連合会

# いしかわ

第53号

令和7年1月発行



のとしま水族館 ジンベエザメのモモ【令和6年10月撮影】

写真提供：のとしま臨海公園水族館（のとしま水族館）

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

# 目次

シルバー連合会いしかわ 2025. 1 第53号

## ごあいさつ

会長 林 充 男	1
石川県知事 馳 浩	2
石川労働局長 八 木 健 一	2

## 令和6年度の主要事業（令和6年7月～12月実施分）

石川労働局等への要請	3
労働者派遣業務担当者会議	3
専門委員会	3
グラウンド・ゴルフ大会	4
普及啓発促進月間活動	4
第2回県内各センター事務局長会議	4
能登半島地震・豪雨被害に対するの被災地センターへの支援について	5
連合会事業推進計画策定委員会	5
契約方法の見直しにかかる研修	5
安全パトロール	6
運転技能講習	6
安全就業担当職員会議	6
高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）	7・8
センター支援事業（連合会の独自事業）	8
衛生委員会 掲示板	9
県内の各シルバー人材センターの活動紹介	10～15

## 表紙について

### のとじま臨海公園水族館（のとじま水族館）

七尾市の能登島にある水族館で、石川県唯一の水族館です。能登半島近海に生息・回遊している魚を中心に展示されています。

令和6年1月1日の能登半島地震によって、ボイラーや循環設備などが破損したために休館していましたが、施設の復旧が進んだことにより、7月20日に営業が再開されました。

その後、「ジンベエザメ館 青の世界」では、10月11日からジンベエザメの展示が再開されました。愛称は、5つの候補から来館者の投票によって選ばれた「モモ」に決まりました。大きな水槽の中を悠然と泳ぐ姿は迫力満点です。ほかに、「のと海遊回廊」では、一体型アクリル水槽や観察ドーム、日本海側の水族館としては初めてとなるプロジェクションマッピングの常時投影により、まるで海中散歩をしているような臨場感が楽しめます。

（参照：のとじま水族館HP）



## ごあいさつ

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会  
会長 林 充 男

令和7年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当連合会の運営及び諸活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震、9月には奥能登豪雨と重ねて大きな災害に見舞われ、県内全域、特に能登地域では甚大な被害を受けました。あらためて、被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復旧・復興と、住民の皆様の健康を心よりお祈り申し上げます。

被災地のシルバー人材センターでは、会員の死亡・負傷・避難・転出、発注者の事業の停止・休止、職員の被災、インフラの損傷など大きな混乱の中、事業の回復に懸命に取り組みおられます。県内外のシルバー人材センター及び連合からは、義援金など温かいご支援をいただき感謝申し上げます。

また、会員の就業先として、石川県の主導により、被災地の市町等が行う復興に資する業務をシルバー会員が担う能登復興推進隊事業を実施していただいております。

これからも、シルバー事業関係者挙げての支援が必要であり、当連合会といたしましても、各シルバー人材センターと連携して、更なる支援に取り組んでまいります。

さて、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、シルバー会員数の減少や会員の平均年齢の上昇、これによる業務のマッチングの難しさなどの課題が存する中、令和5年10月から導入された消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）への対応、昨年11月のフリーランス新法の施行及び国が進める包括的契約への移行への対応、そして、これらを進めていく上で業務の効率化のためのデジタル化の推進も強く求められております。

また、国の公益法人制度改革に伴い、本年4月には、改正公益法人認定法が施行され、公益法人の認定を受けている各センター及び当連合会は、同法改正の趣旨に沿った適切な法人運営が求められることとなります。

このように解決・対応すべき課題は山積しており、大変厳しい状況下にあります。当連合会は、シルバー会員が生き生きと、就業や社会参加ができて充実した生活が送れるように、また、シルバー人材センターの地域社会への更なる貢献を進められるよう、県内各シルバー人材センターを支援するとともに、行政や関係機関等との連携を図りながら、積極的に事業運営を進めてまいります。

何とぞ、関係機関の皆様には倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が、皆様にとりまして、明るい進展の年となりますよう、併せてご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## ごあいさつ



石川県知事  
馳 浩

日頃より、県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。また、旧年中に発生しました令和6年能登半島地震並びに令和6年奥能登豪雨においてお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様方にお見舞い申し上げます。

県では、発災直後から、被災者の救助や生活支援、各種インフラの応急復旧に加え、被災された事業者の生業の再建へ向けた取組を着実に進めてまいりました。しかし、9月には令和6年奥能登豪雨により再び甚大な被害が発生し、復興への道のりは長く険しいものがあります。昨年6月に策定した「石川県創造的復興プラン」に基づき、引き続き、国、被災市町と緊密に連携し、一日も早い復興に向けて、様々な課題に全力を挙げて取り組んでまいります。

能登の地域経済を支え、能登の生活・文化を形成する生業の再建なくして能登の復興は成し遂げられないことから、発災以降、「なりわい再建支援補助金」による本復旧の支援に加え、早期の営業再開のための仮設施設等の整備を支援する「営業再開支援補助金」等の補助金、能登と金沢に開設している事業者支援センターにおける相談対応など、生業の再建に取り組んでまいりました。

能登復興推進隊につきましては、昨年10月以降、シルバー人材センターの皆様を主体として、仮設住宅周辺の清掃や被災者向けの広報誌の配布など、被災市町等から依頼された復興に資する公共的な業務を多数担っていただいております。引き続き、様々な業務を積極的に担っていただくことで、仕事を通じた生きがいの創出と復興の推進につなげてまいります。

地域社会の活力を維持するためには、高齢者の方々が仕事を通じて活躍する機会を確保することが重要であり、シルバー人材センターが果たす役割の重要性や寄せられる期待は今後、ますます増してくるものと思われまます。県としても、引き続き支援してまいります。

結びに、この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川労働局長  
八木 健一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、石川労働局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、最近の景況については、令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直しているとされております。

また、本県の雇用情勢についても、令和6年10月の有効求人倍率は1.59倍と全体として求人が求職を上回って推移しているものの、令和6年能登半島地震及び豪雨の影響により、一部地域に弱さが見られると判断しております。

こうした中、わが国の少子高齢化は急速に進展しており、活力ある地域社会を維持していくためには、働く意欲のある高齢者がその能力を発揮できるよう、活躍の場を維持・確保していくことはもちろん、高齢期において就業の選択肢を広げるためのリ・スキリングがこれまで以上に求められているところです。

シルバー人材センターには、その果たす役割の重要性和地域社会の期待は一層大きなものとなっており、地域における高齢者の就業の受け皿としての役割のみならず、生きがいやコミュニケーションの場として、地域社会の活性化にも貢献することが求められています。

石川労働局におきましても、あらゆる産業において人手不足感が強まっている中、年齢に関わりなくいきいきと働ける「生涯現役社会」の構築に向け、貴会との連携を密にするとともに、70歳までの就業機会の確保に向け、令和3年4月から施行された改正高年齢者雇用安定法の趣旨や内容の周知・啓発、定年延長や継続雇用の導入等にかかる雇用環境の整備に関する相談・援助、生涯現役支援窓口などのマッチング支援等に取り組んでまいります。

末筆ではございますが、貴会及び会員の皆様の益々のご健勝とより一層のご繁栄を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

# 令和6年度の主要事業 (令和6年7月～12月実施分)

## 石川労働局等への要請

● 8月21日(水)

令和6年度全国シルバー人材センター事業協会総会の決議事項に基づき、シルバー人材センター活動への支援要請を行いました。林充男会長、竹田由喜夫、藤勝好の両副会長、増田勉事務局長ほか、石川労働局、石川県議会、石川県庁、自由民主党石川県支部連合会、石川市長会、石川県町長会を訪問しました。訪問先の皆様にご対応いただき、支援要請文の手渡しと、意見交換をさせていただきました。

石川労働局



藤副会長 林会長 八木健一 竹田副会長  
石川労働局長

石川県議会



藤副会長 林会長 善田善彦 竹田副会長  
石川県議会議長

石川県庁



藤副会長 林会長 小林俊広 竹田副会長  
商工労働部(総括)次長

## 労働者派遣業務担当者会議

● 8月28日(水)〈石川県女性センター〉



石川労働局職業安定部  
需給調整事業室長  
春木由美氏

県内各センターの派遣業務担当者と連合会職員合わせて28名が参加し、労働者派遣業務担当者会議を開催しました。

はじめに、石川労働局職業安定部の春木由美需給調整事業室長から労働者派遣事業の適正な運営についてご説明をいただき、その後、連合会事務局から労働者派遣業務の運営及び労災事務の留意点の説明を行った後、業務運営に係る意見交換が行われました。



## 専門委員会

● 8月26日(月)・30日(金)〈連合会会議室〉

連合会に設置している就業開拓、交流研修、普及啓発、安全・適正就業の4つの専門委員会は、令和6年6月30日をもって全委員が任期満了となったため、7月1日付けでそれぞれ新たに委員が選任されました。各専門委員会では、就任された委員が紹介され、林会長のあいさつに続き、各委員会の委員長の議事進行により、活発な協議が行われました。

### 【各専門委員会の審議内容】

- (1) 令和5年度事業実施状況について
- (2) 令和6年度事業計画について
- (3) センターからの検討・要望事項について



【8/26 安全・適正就業推進専門委員会】



【8/26 交流研修専門委員会】



【8/30 普及啓発推進専門委員会】



【8/30 就業開拓推進専門委員会】

## グラウンド・ゴルフ大会

● 10月18日(金)〈かほく市高松グラウンド・ゴルフ場〉

この大会は、シルバー人材センター事業を広くお知らせするとともに、シルバー会員の健康増進と親睦をはかることを目的に実施している大会で、県下の各シルバー人材センターから、会員や役員、職員が参加しました。

大会当日は、約170名の参加者が、10月とは思えない暑い日差しのもと、日差しに負けない熱い戦いを繰り広げました。

休憩時間には、センターの会員、役員、職員により、それぞれのセンター紹介が行われ、参加者の皆さんにとっては、普段知ることが少ない他のセンターのを知る良い機会となりました。

入賞者の皆さんには、林会長から優勝トロフィーと賞品が手渡され、記念撮影をして、無事に終了しました。

連合会としても、普段顔を合わせることの少ない会員さんとの交流は、貴重な機会となりました。



### 男性の部

優勝：守 恵三男さん (七尾市SC)  
2位：山本 和就さん (小松市SC)  
3位：藤島 勇啓さん (小松市SC)

### 女性の部

優勝：松下美枝子さん (志賀町SC)  
2位：藤部 富子さん (珠洲市SC)  
3位：源司キミ子さん (能美市SC)

## 普及啓発促進月間活動

● 10月1日(火)～10月31日(木)

県内のシルバー人材センターでは、10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の期間中に、清掃、草刈り、剪定等のボランティア活動や周知・広報のチラシ・グッズの街頭等での配布など普及啓発活動を実施しました。

当連合会では、入居ビル屋上から懸垂幕「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間 10月1日～10月31日」を掲示しました。



## 第2回県内各センター事務局長会議

● 10月23日(水)〈石川県女性センター〉

林充男会長のあいさつの後、連合会事務局から次の項目について説明し、質疑応答や意見交換を行いました。

- (1) 全シ協からのシルバー人材センター事業に関する情報提供
- (2) 契約方法の見直しについて
- (3) 労働者派遣事業について
- (4) その他

(2)の契約方法の見直しについては、連合会からの説明の後、18センターに状況をご報告いただき、それぞれのセンターの具体的な取組状況について情報交換・意見交換をしました。



## 能登半島地震・豪雨被害に対しての被災地センターへの支援について

能登半島地震・豪雨被害に対する被災地センターへの支援につきまして、12月末までに県外・県内の38のシルバー人材センター・連合様からご支援をいただきました。あらためて、皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

連合会では、皆様からのご支援に、連合会職員からの寄附金を加え、被災地のセンターに義援金として配付いたしました。

令和6年7月から12月までに新たにご支援いただいたセンター・連合様 (受付順・敬称略)

球磨村シルバー人材センター (熊本県)

(公社)秋田県シルバー人材センター連合会 (秋田県)



## 連合会事業推進計画策定委員会

● 11月22日(金)・12月17日(火)〈石川県女性センター〉

令和7年度から令和11年度までの事業推進計画の策定について協議するため、令和6年度石川県シルバー人材センター連合会事業推進計画策定委員会が9月に設置され、委員の委嘱が行われました。

第1回会議が11月22日(金)に石川県女性センターで開かれました。林充男会長の



連合会 林会長



宮崎委員長



堂岸副委員長



挨拶の後、委員長に宮崎委員、副委員長に堂岸委員が、委員の互選により選任され、議事事項の協議に移りました。

事務局の説明の後、新推進計画の素案を基に、委員の活発な意見交換が行われました。

第2回会議は、12月17日(火)に開催され、引き続き「事業推進計画(素案)」の検討が行われました。

### 第1回議事

- (1) 委員長及び副委員長の互選について
- (2) 石川県シルバー人材センター連合会事業推進計画の策定について
  - (ア) 令和5年度県内シルバー人材センター事業実績について
  - (イ) 現事業推進計画について
  - (ウ) 現事業推進計画の目標達成状況について
  - (エ) 事業推進計画(素案)について
  - (オ) 事業推進計画策定協議等スケジュールについて
- (3) その他

### 第2回議事

- (1) 石川県シルバー人材センター連合会事業推進計画(素案)について
- (2) その他

## 契約方法の見直しにかかる研修

● 12月12日(木)〈石川県女性センター〉

県内センターの職員と連合会職員合わせて41名が参加し開催されました。午前の部では、NRI社会情報システム株式会社 営業部 土橋秀平主任から「エイジレス80の【フリーランス法】および【新契約方式】への対応方針について」、午後の部



では、衣目公認会計士・税理士事務所 氏原謙一様から「新たな契約方法における全国の動向及び会計処理等について及び公益法人会計基準の改正について」ご説明いただきました。



NRI社会情報システム株式会社  
営業部 主任  
土橋秀平氏



衣目公認会計士・  
税理士事務所  
氏原謙一氏

## 安全パトロール

事故撲滅のための安全就業の啓発と、就業形態の適正化推進を目的に、各センター協力の下、「安全・適正就業推進計画」に基づく合同安全パトロールを連合会安全・適正就業推進専門委員及び連合会事務職員と、巡回対象に選



「剪定」8月7日(水) かほく市

定されたセンター事務局長等により編成された班により実施しました。直近3年間は10月に実施していましたが、今年は7月～8月に野々市市とかほく市の2センターで実施しました。現場では、安全防護具や脚立等の使用状況とともに、石飛び防止対応の器具・道具類が適切に使用されているかを確認しました。「飛び石防護ネット」や「フェイスガード」の使用について、注意を促しました。

● 7月31日(水)、8月7日(水)



「草刈」7月31日(水) 野々市市

「草刈」7月31日(水) 野々市市

## 運転技能講習

労働者派遣事業において、スクールバスや福祉施設等の送迎などの人員輸送業務と、給食配送や広報誌などの物品輸送業務に従事している会員を対象に、事故防止対策の一環として、安全運転のスキル向上と安全意識の啓発のため、平成27年度から本講習を実施し、10年目となりました。今年度の後期日程では、10月15日の金沢会場を皮切りに、県下8会場で開催され、64名が受講しました。

この講習では、受講者が「自動車運転技能自動評価システム (オブジェシステム)」を搭載した車を運転し、その運転の「クセ」などの運転行動をドライブレコーダーとGPS (全地球測位システム) を使って定量的に測定します。そのデータを基にAからEまでの5段階で評価を行っています。

受講者一人ひとりに、自動車教習指導員から、診断結果の解説と運転技能の改善について、的確なアドバイスをを行いました。今後の運転業務に大いに活かされる講習となりました。

● 10月15日(火)～11月12日(火)



実地走行により一人ひとりの運転データを収集し、評価する  
(加賀市大聖寺、時鐘堂付近)



実地走行では、帽子と右足の靴に、GPS受信機 (○印) をつけ測定する  
(珠洲市シルバー人材センター)



室内講義の様子  
(かほく市シルバー人材センター)

## 安全就業担当職員会議

県内各センターの安全就業担当者と連合会職員合わせて24名が参加し、会員の事故防止に資することを目的に、安全就業担当職員会議を開催しました。グループ討議では、各センターの安全就業対策についての現状や課題について、意見交換が行われました。

### 【内容】

- (1) 県内シルバー人材センターの事故発生状況
- (2) 安全就業パトロールから
- (3) 全シ協 令和6年度 安全就業優秀賞・優良賞を受賞したシルバー人材センターの取組事例の紹介
- (4) 講演「刈払機による飛石事故を減らすために」  
株式会社SMサービス 営業部 影山 雅弘 氏
- (5) グループ討議・意見交換

● 12月24日(火)〈石川県女性センター〉



## 高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）

### ① 周知・広報

シルバー人材センター事業の周知・広報として、テレビCMのほか、新聞広告、自治体広報誌（14市町）等での広告を実施しました。また、SNSを利用した新たな広報として、X（旧Twitter）による技能講習等の情報発信を開始しました。さらに、金沢、津幡、白山、小松、加賀の各ハローワークにおいて、定期的に出張相談会を実施したほか、ハローワーク主催の「概ね60歳以上の求職者向け 生涯現役就職支援セミナー」に参加して、シルバーの仕組みと働き方を説明するとともに、元日に発生した能登半島地震の被災者の就業を支援する、石川県主催の「短期のお仕事相談会」に参加しました。ほかにも、高齢・障害・求職者支援機構石川支部主催の「令和6年度雇用に役立つ助成金等説明会」に参加して、事業所の人事担当者に対してシルバー事業を周知しました。



テレビCM 「遺跡発掘編」



市町広報誌の広告 例：白山市



新聞広告（北国新聞テレビ欄下）

### ② 就業体験の実施

就業体験は、シルバー会員でない方やシルバー会員で職種転換を希望する方等に対し、シルバー会員、企業等の協力を得て、実際の作業等についての体験や職場見学を実施するものです。

本年、11月末現在で、56人（未会員31人、職種転換希望等の会員25人）に対し、剪定、清掃、球根植付け作業、施設管理等の就業体験を実施しました。このうち、未会員の体験者31人が新たに入会しました。



ぶどう収穫・出荷（かほく市）



エアリーフローラ球根植付け（宝達志水町）

### ③ 技能講習の実施

シルバー人材の登録・就業対象である60歳以上のシルバー未会員の方及び職種転換等を希望するシルバー会員に対し、必要な技能講習を実施し、入会及び就業の促進を図っています。



剪定スタッフ講習（加賀市）



刈払機取扱い安全講習（金沢市）



クリーンスタッフ講習（小松市）

## 技能講習の地域別開催状況

※令和6年11月末現在

開催地域		開催数	受講者数	主な講習名
石川中央地	金沢市・白山市 野々市市・内灘町 津幡町・かほく市	10回	113人	剪定スタッフ講習、刈払機取扱い安全講習、クリーンスタッフ講習、洋風しめ飾り講習、調理補助スタッフ講習
南加賀地	小松市・加賀市 能美市	6回	63人	剪定スタッフ講習、刈払機取扱い安全講習、クリーンスタッフ講習 キッズサポートスタッフ講習 ライフサポートスタッフ講習
能登中部地	七尾市・羽咋市 志賀町・中能登町 宝達志水町	2回	21人	剪定スタッフ講習 刈払機取扱い安全講習
能登北部地	輪島市・珠洲市 能登町・穴水町	3回	20人	クリーンスタッフ講習 キッズサポートスタッフ講習 ドローン・プログラミング講習
合計		21回	217人	

※輪島市で開催予定の「刃物研ぎスタッフ講習」及び「洋風しめ飾り講習」、能登町で開催予定の「果樹栽培スタッフ講習」（※いずれも開催日未定）は、能登半島地震の影響により中止。

## ④ 連絡会議

令和6年11月15日(金)、石川県地場産業振興センターにおいて、「高齢者活躍人材確保育成連絡会議」を開催し、シルバー人材センター事業の課題等について、意見交換を行いました。

## 【出席いただいた機関・団体】

- 石川県商工会連合会、石川県中小企業団体中央会
- 石川県退職者連合
- 石川労働局職業安定部職業対策課、石川県商工労働部労働企画課

## センター支援事業（連合会の独自事業）

各センターの要望により、就業中の事故防止対策の一環としての刈払機取扱作業安全衛生教育講習をはじめ、シルバーの受託事業の主力業務である剪定、清掃等の講習のほか、接遇講習などの開催を支援し、会員のスキルアップを図ります。

また、従来は、会員のみを受講対象としていた刈払機取扱作業安全衛生教育講習を、今年度から新たに全センターの全職員も受講対象に加えることにしました。これは、飛び石事故が一向に減少しない現状において、日ごろ、会員の安全就業に従事している職員も受講し、専門知識を身に付けることが、今後の安全就業に資すると考えているからです。



清掃講習  
(中能登町シルバー人材センター)

## センター支援講習開催状況（会員対象）

※令和6年12月末現在

講習名	開催地区	開催回数	受講者数
刈払機取扱作業安全衛生教育	野々市市、羽咋市、七尾市	4回	43人
剪定講習	七尾市、穴水町	2回	10人
清掃講習	中能登町	1回	9人
接遇講習	白山市、野々市市	2回	48人
障子張替講習	白山市	1回	4人
計		10回	114人

## センター支援講習開催状況（センター職員対象）

※令和6年12月末現在

講習名	開催地区	開催回数	受講者数
刈払機取扱作業安全衛生教育	県内全域	随時	4人

## 衛生委員会 掲示板

### 牛乳について その7

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会 産業医 井上 一彦



皆様 御変わりなく御元気で御活躍のことと存じます。

「日本人が牛乳とどう関わってきたか」について書いています。今回は飛鳥時代から平安時代まで宮中で用いられていた乳製品「蘇」が鎌倉時代に衰退してしまったというところまで書きました。今回はまずその原因について考察し、続いて織豊時代までの牛乳との関わりについて書きます。

#### 蘇か軍馬か

宮廷で蘇が摂られなくなったのは仏教の肉食忌避の影響であるとの説が有ります。しかし熱発時に蘇を服用したという藤原道長の時代(1000年頃)の宮廷も仏教信仰は盛んだったので、消費する側が変化したのではなく生産する側が変化したと考えたくなります。

蘇の生産が始まった頃に築かれた律令体制による朝廷の全農地支配は奈良時代末期に既に実効性が薄くなり、平安中期以降の寄進地系荘園の増加により在地勢力が支配する農地の割合が増えてゆきました。更に鎌倉幕府が服属する武士を荘園の警察、徴税権を持つ管理者に任命したので、かつて蘇を生産していた「牧」(宮廷に献上する牛馬を飼育する官営施設)が機能していたとは考えられない状況となりました。資料が無いので推測ですが、軍馬の生産強化に伴い乳牛の生産は縮小されたのではないのでしょうか。先進文化の象徴たる蘇を重用した貴族と調達に邁進した官人とは異なり、封建領主と家之子郎党は蘇に魅力を感じず、流通させて利益を得るのも困難だったでしょうから、蘇は廃れてゆくしかなかったのでしょう。

#### 牛乳忌避の経済的側面

奈良時代以降に肉食全般が忌避された日本ですが、鹿、猪、野鳥など猟で得られた肉を食することは許されており、武士集団では戦闘訓練を兼ねた大規模狩猟の獲物を食することが称揚されました。経済的条件が原因と考えられる肉食の禁忌(人も食べられる物で肥育しなければならない豚や、農耕に有用な牛、戦闘に有用な馬などは食用としない)について、宗教界の力が強かった欧米ではようやく19世紀に論ずることが許された様ですが、行動的な陽明学者であった熊沢蕃山は18世紀初頭に牛肉食禁止は穢れを防ぐ為ではなく農耕に支障を生じさせぬ為だと喝破しています。

経済的に牛肉食に比しハードルが低い所為か、世界でも少数の小規模な宗教集団以外は禁忌としない(ヒンズー教で牛肉は禁忌ですが牛乳は許されており、現在インドは世界の牛乳の4割を消費しています)牛乳利用が本邦では平安時代の蘇以降500年近く記録されていない理由は大変興味深いところです。織田信長が「牛乳を飲むと牛になる」迷信を打破する為に牛乳を飲んだと伝えられており、牛肉のみならず牛乳にも忌避があったことが窺われます。日本の自然環境では牛肉は勿論、牛乳生産も採算が合わなかったことにより牛乳にも経済的条件が原因の禁忌が生じたのかも知れません。信長、秀吉の時代にイエズス会士として布教に当たったルイス・フロイスの著書に「日本人は犬を多く食べる」と有ります。当時の庶民は他に適切な蛋白供給源が無かったことも理由でしょうが犬肉食には抵抗が無かった様で、野犬にはコストが掛からないことが原因だったかも知れません。

御読み頂きまして誠に有難うございました。

# 県内の各シルバー人材センターの活動紹介

県内各地域18のシルバー人材センターの様々な活動を紹介します。

## ① 珠洲市シルバー人材センター

### ★草刈機安全取扱い講習会

毎年行われている、草刈機安全取扱い講習会を7月2日(火)に行いました。会員11名が参加し、草刈機の取り扱いについて受



講しました。これからも安全に作業できるよう呼びかけし、努めたいと思います。



### ★剪定・雪吊りボランティア

10月22日(火)、普及啓発月間活動の一環として、珠洲市役所前の剪定・雪吊りボランティアを実施しました。4名の会員が朝から手際よく作業をこなしていました。

## ② 輪島市シルバー人材センター

### ★仮設住宅からの家財運搬作業

令和6年9月能登半島豪雨による水害で浸水被害を受けた輪島市内の仮設住宅からシルバー会員が使用できなくなった電化製品、家財などの分別処分や、家財を一時保管場所に運搬する作業を行いました。会員が入居している仮設住宅もあり、作業を通して震災、水害からの復旧復興に参加しています。



### ★小学校仮設校舎の給食配膳作業

輪島市内にある9つの小学校のうち6校は校舎が地震被害を受けたため、市の中心部にある河井小学校のグラウンドに仮設校舎が建設されました。児童数は合わせて約400人となり、二階建ての仮設校舎には給食配膳用エレベーターがないためシルバー会員が2階まで給食を運んでいます。被災し日ごろ仮設住宅に居るシルバー会員も、児童たちと接して、仕事を通じての生きがいを作っています。

## ③ 能登町シルバー人材センター

### ★能登復興推進隊

石川県より能登地区のセンターに能登復興推進隊の業務委託を受けました。

能登町では、応急仮設住宅団地にある集会所の清掃、話し相手また除草等の依頼を受け、新しい会員さんも入会していただき「能登の復興はシルバーから」を目標に頑張っています！



### ★ボランティア美化活動

10月25日(金)、普及啓発促進月間に合わせ、宇出津地内のゴミ拾いを行い、町をきれいにするとともにセンター事業の普及啓発を行うことができました。また会員にとっても、健康維持及び増進を図ることができました。



### ★シルバーショップ「かがやき」

地震の影響により建物が半壊したので閉店していましたが、お客さまからの要望もあり行政からプレハブハウスを借り、狭いながらもリサイクル用品や新鮮野菜等を販売することができ、地域の住民に親しまれています。

#### ④ 穴水町シルバー人材センター

##### ★剪定・雪吊り技能講習会

剪定作業員の後継者育成のため、令和6年度も県立穴水高等学校のお庭をお借りし10月16日(水)～18日(金)の3日間、講習会を実施しました。講師の先生の話に真剣に耳を傾け、今後の就業につなげていけるよう真剣に取り組んでいました。



##### ★いきいき美容教室の開催

今年度は女性会員を対象にいきいき美容教室を11月29日(金)に開催しました。会員・非会員を合わせて15名が参加し、身だしなみを整えることによるフレイル予防を行うことで、健康長寿につながるメイク方法を学びました。被災後の互いの近況など女性だけのひと時を過ごし親睦を深めることが出来ました。今後も女性会員の魅力ある企画を行っていけるよう努めていきます。



#### ⑤ 志賀町シルバー人材センター

##### ★スマホ教室の開催

フリーランス法の施行に伴い会員への就業条件の明示などに対応するため、「Smile to Smile」への登録を目的とした「スマホ教室」を開催しました。講師に、志賀町で国内最大規模のデータセンターを運営する(株)ハイレゾの皆さんを迎え、会員と事務局職員が会員専用サイトへの登録方法などを学びました。

センターでは、今後も積極的に登録者を増やし、業務のデジタル化を推進していきます。



##### ★会員親睦旅行の開催

11月4日(月)、飛騨高山への「会員親睦旅行」を実施しました。以前から理事会等で会員の交流事業の要望があり、今回、女性職員が協議・企画し、初めての日帰りバス旅行が行われました。

古い町並みの散策や車内でのゲームなどで盛り上がり、会員相互の親睦が深められ、来年の開催を楽しみにする声も聞かれました。

今後も会員の生きがいづくりに努めていきます。



#### ⑥ 七尾市シルバー人材センター

##### ★ふれあいの集い

たくさんの方にご来場いただきました。会員手作りの洋服のファッションショーも行い、大変盛り上がりました。

地震の被災の影響により仮設住宅にお住まいの方も足を運んで頂き、社会参加へのきっかけとなったとの声もありました。また、会員入会にもつながりました。



##### ★能登復興推進隊員始動

被災者支援と就業支援を目的とする石川県の能登復興推進隊事業がスタートし、避難先となる仮設団地での除草作業を行っています。被災した方が会員登録し、復興推進隊として活躍しています。



### ⑦ 中能登町シルバー人材センター

#### ★きれいな町づくりのボランティア

お花を植えてきれいな町づくりのボランティアに参加しました。町内でもっとも賑やかなスポットにある国道脇に、およそ400mにわたりお花を植えるボランティアをいたしました！その後は、周辺のゴミ拾いをしてからのみんなで仲良くファーストフードで朝食を♪

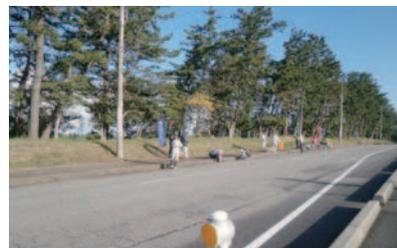


ただボランティアをするよりも、もっと楽しくおしゃべりしながら、継続できる活動にしていきたいと考えています。

### ⑧ 羽咋市シルバー人材センター

#### ★ボランティア活動

10月11日(金)、普及啓発推進月間の活動として、清掃ボランティア活動を実施しました。今年は、ユーフォリア千里浜前の歩道の落ち葉拾い・清掃を行いました。会員・職員合わせて27名が参加し、会員がいきいきと活動する姿を市民の方々にPRし、センターの普及啓発を行いました。



#### ★「シルバーフェスタはくい2024」を開催

今年で14回目となる普及啓発イベント「シルバーフェスタはくい」を11月17日(日)に開催しました。独自事業で会員が栽培した白菜・大根・さつまいもと会員自家栽培野菜の販売やステージショー、飲食物販売などで会場は大賑わい。無料の骨密度チェックも高齢者に大人気でした。中でも女性会員のみなさまによる歌のステージは大盛り上がりでした！会員互助会の華道クラブの作品展もあり、来場者にシルバー人材センターの活動をPRできたと思います。

### ⑨ 宝達志水町シルバー人材センター

#### ★ボランティア活動

10月24日(木)、普及啓発促進月間に合わせ、「特別養護老人ホームちどり園」敷地内の剪定・除草作業を行いました。会員25名が参加し、手際よく作業を行っていました。



#### ★「振り込め詐欺防止」のための講習会

ボランティア活動終了後、羽咋警察署による寸劇を鑑賞しました。詐欺事件は他人事だと思っていましたが、羽咋署管内の詐欺件数や被害金額を聞き、身近にもたくさんの被害者がいることを知り、気をつけなくてはいけないと感じました。



#### ★普及啓発活動

11月3日(日)、町文化祭及び顕彰式に合わせ、役場前にて理事や職員により、ポケットティッシュ等を配布し、センターの紹介や入会の勧めの声掛けをしました。

## ⑩ かほく市シルバー人材センター

### ★農作物栽培

平成30年度より独自事業として、市内の遊休地や耕作放棄された3か所の畑を借り、ぶどう（デラウエア）や玉ねぎ、さつまいも、長いもなどの野菜の栽培に取り組んでいます。農作物栽培の講習会を開催し就業機会の拡大に繋げているとともに、収穫した野菜は、毎月発行の「会員だより」に掲載し販売を行っています。



### ★普及啓発月間の街頭キャンペーン

10月の普及啓発月間に、会員・職員の約20名で市内スーパーマーケット3店舗の開店に併せて、ウェットティッシュ・ポケットティッシュなどの配布や、シルバー人材センターの紹介や入会の勧めの声掛けなど、普及啓発活動を行いました。



## ⑪ 津幡町シルバー人材センター

### ★シルバー事業を知ってもらうため活動しています

10月19日(土)午前7時から1時間程度、シルバー人材センター会員33名が、「サンライフ津幡周辺」と「中条公園」の2か所で「ボランティア清掃」を行いました。令和2年より毎年実施していることから、会員さんも手慣れた様子で清掃を進め、みるみるうちに綺麗になりました。これからも町内美化を通してシルバー事業普及に貢献していきたいと思えます。



### ★交通安全講習会

11月8日(金)、サンライフ津幡でシルバー会員に対する交通安全講習会を開催し、会員27名は津幡警察署交通課 松本里香課長の講義で正しい道路横断や反射材の有効利用と自転車の事故多発による道路交通法改正などを学びました。

また、(一財)石川県交通安全協会による「パッチー号」の体験も行い、楽しみながら交通安全への意識を高めました。

## ⑫ 内灘町シルバー人材センター

### ★障子張替講習会

2月から計10回にわたって、新たな技能習得・後継者育成のための障子張替講習会を実施しました。最終日には障子を剥がす所から張替までを一人で行いました。参加者全員が就業につながっており、当センターの戦力として頑張っています。



### ★内灘町へ災害義援金を贈呈

元日に発生した能登半島地震の復興に役立てていただくため、4月24日(水)、内灘町役場において義援金を贈呈しました。

今後もチャリティーバザーの開催などを行い、支援を続けていく予定です。



### ★第21回グラウンドゴルフ大会

11月12日(火)、金沢市ものづくり会館グラウンドゴルフ場にて開催され、会員10名が参加しました。元日の地震の影響で、町内のグラウンドゴルフ場が使用出来ず、一時は開催を断念しましたが、会員の皆さんの熱いご要望を受け、急遽開催となりました。

参加者は少ないものの、とても良い時間を過ごす事が出来ました。今後も会員同士の交流の場を提供し、シルバーの輪を広げて行きたいです。



### ⑬ 金沢市シルバー人材センター

#### ★シルバーフェスタ金沢2024

普及啓発活動の一環として、5年ぶりに「シルバーフェスタ金沢2024」を開催しました。今回は「能登半島地震復興支援」と題し、七尾市と能登町、福井県大野市の3センターにご出店をいただきました。そのほか、実行委員と有志会員スタッフを中心に、会員出店のフリーマーケット、体力測定やゲームコーナー、フードコーナーやシルバーPRブースなど盛りだくさんの内容で展開しました。スタッフみんなの祈りが届き雨予報もなんとか持ちこたえ、会場は大いに盛り上がりました。



#### ★清掃スタッフ講習会

就業拡大や技術向上を目的に、「清掃スタッフ講習会」を開講しました。常沢ビルサービス株式会社 取締役事業統括部長 清水太作氏を講師に招き、会員19名が受講しました。座学では日常清掃におけるポイントや汚れの種類を、実習ではトイレや流し台の清掃方法を説明していただきました。受講から就業に繋がった会員もおり、事務局は今後のマッチング強化に大きな効果があるのではないかと期待しています。



### ⑭ 野々市市シルバー人材センター



#### ★ちょっこしマーケット

11月18日(月)、野菜班主催の「ちょっこしマーケット 秋の大根市」が開催されました。年2回開催される「ちょっこしマーケット」は、楽しみにしている方も多く、毎回30分前後で完売。今年は、夏の猛暑の影響で、大根は少なめでしたが、そのほかのねぎやさつまいも、ヤーコンなどあつという間に売り切れました。

#### ★ボランティア清掃

地区連絡会の活動として、10月5日～10月12日の期間に4つの地区で、ボランティア清掃を行いました。実施場所は、野々市駅周辺や公民館など市民が多く利用する場所を選び40名の会員が参加しました。小さな活動ですが、会員同士の交流を深め、地域に貢献する活動として、これからも続けていきたいと思えます。



### ⑮ 白山市シルバー人材センター

#### ★障子張替業務における会員育成

当該業務の後継会員育成を図り、シルバーの受注に繋げることを目的として希望会員を対象に障子張りの練習を行いました。



#### ★白山市福祉健康まつりに出展

毎年開催されます、白山市福祉健康まつりに出展し、会員募集、仕事募集を行いました。古い英字新聞で作ったエコバッグに普及啓発物品(ポケットティッシュ、チラシ等)を入れて来場者に配布し大変好評を得ています。

その他、会員の活動写真(就業風景、ボランティア)も展示しました。

## ①⑥ 能美市シルバー人材センター

### ★感謝祭



今年度も日頃のご愛顧に感謝する「感謝祭」を11月17日(日)に開催しました。

独自事業で生産している加賀丸いも、国造ゆず、家庭菜園で会員が丹精した野菜などを持ち寄り、また餅つきの体験やつきたて餅の無料配布が人気で、前年度に大幅増と

なった来場者が更に1.4倍となって市屋内競技施設「すぱーく寺井」は、満杯となる大盛況となりました。

来年度は市制20周年と区切りの10回目の開催となることから、市当局と連携しながら、より盛大に開催したいと準備しています。



## ①⑦ 小松市シルバー人材センター

### ★接遇・マナー講習会

就業時におけるトラブル等を回避することを目的に6月20日、接遇・マナー講習会を開催し、会員42名が受講しました。講師には接遇・キャリアコンサルタントの多保田恵美子氏をお迎えし、就業時の心構えやトラブル事例を踏まえた講習内容に、真剣に耳を傾ける姿が多く見られました。これからもお客様や地域により一層信頼されるセンターを目指し、取り組んでいきたいと思ひます。



### ★秋の日帰りバス旅行

11月16日に、互助会主催でバス旅行を開催し、総勢53名の会員が参加しました。当日は晴天に恵まれ、午前は三方五湖レインボーラインで絶景を楽しみ、午後からはNHK大河ドラマ「光る君へ」の舞台となった越前市で紫式部の足跡を巡りました。コロナ禍を経ての久しぶりの県外への研修旅行となり、北陸の絶景と歴史を堪能することができました。

## ①⑧ 加賀市シルバー人材センター

### ★元気まつり

地域貢献活動として「シルバー元気まつり」を毎年開催しています。本年は市が主催する「KAGA健康フェスタ2024」と共催で10月26日(土)に開催しました。多くの方が来場する中、レストランさくらの手作りお惣菜、元気市の新鮮野菜、役員で作ったつき立て餅、地元水産業者の協力を得て海産物などを販売し、シルバー人材センターをPRしました。



### ★スマホ教室

Smile to Smileの利用拡大とスマホに親しむことを目的に、会員向け「スマホ教室」を10月から毎月開催しています。ソフトバンク株式会社から講師を招き、「入門編」、「基礎編」の2コースをそれぞれ隔月で開催し、Smile to Smileの登録だけでなく便利で楽しいアプリの操作を体験しています。



連合会主催グラウンド・ゴルフ大会 (P.4)



能登町シルバー人材センター  
能登復興推進隊 (P.10)



志賀町シルバー人材センター  
会員親睦旅行 (P.11)



宝達志水町シルバー人材センター  
「振り込め詐欺防止」のための講習会 (P.12)



かほく市シルバー人材センター  
農作物栽培 (P.13)



金沢市シルバー人材センター  
シルバーフェスタ金沢2024 (P.14)



加賀市シルバー人材センター  
スマホ教室 (P.15)

## 公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳齊1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ: <https://ishikawa-silver.com>

「シルバー連合会いしかわ」は、石川県シルバー人材センター連合会のホームページからもご覧いただけます。

